



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています。
旭市 フェイスブック

検索



あさひ 見聞録

けん ぶん ろく

小中学校卒業式

卒業生に黒板アートのプレゼント

在校生の出席を取りやめるなど規模を縮小して行われた卒業式を前に、滝郷小では卒業生の門出を祝う黒板アートのサプライズが行われました。

これは市内在住の画家すずきらなさんが、依頼のあった市内9つの小中学校に無償で作品を提供したものです。

約2週間ぶりに登校した卒業生たちは、黒板に大きく描かれた思い出の風景やクラスのマスコットだった「てるてる坊主」を見つけると「すごい」「うま過ぎる」などと歓声を上げました。

- ①クラスのマスコットを見つけ思い出がよみがえる
- ②制作者のすずきらなさんが卒業生にエールを送る
- ③みんなそろって記念撮影



①



③



②

2月 27日 3月 9日 ポスターで防火を 呼び掛ける



防火の大切さを訴える

防火の啓発を図ろうと、小中学生を対象に防火ポスターを募集しました。190点の応募の中から、^{よしなが}吉永ちひろさん(二中・1年)、^{ひとは}石毛一葉さん(一中・2年)、^{こころ}小川心愛さん(中央小・4年)、^こ林風果さん(矢指小・5年)が最優秀作品(旭市長賞)に選ばれ、市役所本庁ロビーに作品が展示されました。

2月 7~17日 3月 6~16日 恋する灯台で 「恋バナ応援ウィーク」

「恋する灯台」に認定されている飯岡灯台で、バレンタインデーとホワイトデーのキャンペーンが行われました。

期間中、灯台に隣接する「希望の鐘」はたくさんの花で彩られ、眼下に広がる広大な九十九里浜の絶景をバックに、写真を撮ったり、鐘を鳴らしたりする来訪者でにぎわいました。



九十九里浜をバックに希望の鐘を鳴らす

市議会から 監査委員を選任



佐久間茂樹議員
(三川)

令和2年旭市議会第1回定例会で同意を得て、佐久間茂樹議員が監査委員に選任されました。地方自治法第196条にある「議員のうちから選任する委員」として選ばれています。

東日本大震災の発生から9年

あの日を思う それぞれの祈り



① 作文を朗読する篠塚さん(左から2番目) ② 震災から9年を迎えた穏やかな飯岡の海 ③ 午後5時26分に集まった市民の祈り

新型コロナウイルスの影響で合同追悼式などの追悼行事が中止となった3月11日、あの日の記憶を胸に、それぞれの場所で犠牲者の冥福を祈る市民の姿がありました。

地震が発生した午後2時46分には、市長が飯岡地域の海岸で黙とうを捧げたほか、旭農業高等学校3年の篠塚奈さんが追悼式のために用意していた作文を朗読。自分たちの復興支援活動を振り返り「海が語るものに耳を傾け、伝えなくてはいけないことを後世に伝えます」と力強く話しました。

また飯岡地域に最大の津波が襲った午後5時26分には、「3.11を継承する集い」の関係者や市民が防災資料館前に集まり、鎮魂の鐘の音に併せて黙とうを捧げました。

拍手
ほくほく
唄

東総工業高校 佐藤さん 溶接技術の関東甲信越大会へ

県内の高校生が工業技術を競い合う、第36回総合技術コンクールが昨年11月に開催され、県立東総工業高等学校電子機械科3年の佐藤良太さんが、知事賞を受賞しました。佐藤さんは4月25日に神奈川県藤沢市で開催される、第11回関東甲信越高校生溶接コンクールに出場します。



コンクールに臨む佐藤さん

3月17日 地域の農村指導者を追悼 大原幽学先生墓前祭



墓前で追悼の言葉を送る明智市長

大原幽学の慰霊と功績をたたえることを目的に、干潟地域の長部にある幽学の墓所で墓前祭が開催され、市長や関係者が献花などを行いました。幽学は江戸時代末期に活躍した農村指導者で、世界初の農業協同組合といわれる先祖株組合を作るなど、農民の生活を豊かにするために尽力した人物です。

3月2日 市内を運行 新しいコミュニティバス

市内を循環するコミュニティバスに、新たなバスが加わり運行を始めました。新しいバスは33人乗りで、車椅子の利用者や高齢者などが乗り降りしやすいノンステップバスです。4月から変わるコミュニティバスの運行ルートなどに合わせて、市内各ルートを行います。



あさピーがデザインされたバス